

国保大綱病院企業会計システム構築業務に係る  
公募型プロポーザル選定審査基準

1 選定方法

一次審査及び二次審査により決定する。

ただし、参加表明者が3者以内の場合は一次審査を実施しない。

「2 審査項目及び配点」の点数を合計し、審査員の人数で除した平均点が最も高い者を受託候補者として委員長が決定する。

同点の場合は、見積額による評価にて受託候補者として決定する。

2 審査・評価項目及び配点

審査項目	配点（満点）
(1) 見積書による評価	200
(2) 機能要件書の機能有無（提出）に基づく評価	240
(3) 提案書及びデモンストレーションに基づく評価 【内訳】 ① 会社概要、導入実績等 ② 提案システム全般、システムの操作性、システム稼働環境について ③ 運用支援（保守・サポート体制）について ④ セキュリティ要件について ⑤ 導入・移行要件について ⑥ システム改修費の考え方（法改正、その他、再リース） ⑦ その他追加提案、独自提案について	50 150 120 50 60 80 50 560
合計	1,000

### 3 一次審査

一次審査の対象は、「2 審査・評価項目及び配点」の（1）及び（2）とする。

### 4 二次審査における評価項目及び配点の考え方

#### （1）見積書による評価（200点）

見積書による評価点については、上限額15,972,000円（税込）の範囲内で提示した金額に基づき、下記の計算式から算出する。

計算式により一律に算出するものであるため、一次審査を実施しない場合でも計算は事務局で行い点数を算出する。

##### 【提案書提出者が2者以上の場合】

評価点数 = 配点 × 最低見積額 ÷ 見積額

※評価点数は小数点第2位を四捨五入したものとする。

##### （例）提案書提出者が2者以上の場合

- ・2者（ $\alpha$ 、 $\beta$ ）が提案書を提出。
- ・ $\alpha$ の見積書金額：10,000,000円（税込）
- ・ $\beta$ の見積書金額：15,000,000円（税込）

##### 【計算結果】

$\alpha = 200$ 点（2者の内、最低見積金額のため満点）

$\beta = 133.3$ 点（ $10,000,000 / 15,000,000 \Rightarrow 133.33$ ）

#### （2）機能仕様内容の機能有無（提出）に基づく評価（240点）

応募事業者が回答した各項目（240項目）への対応内容について、下記により、1項目ずつ算出した評価点の合計点とする。

下記に定める表示以外の記号、または不明確な記載は「×」とみなす。

項目	表示	配点
標準機能又はカスタマイズで対応可	○	1
代替方法で対応可	△	0.5
不可	×	0

(3) 提案書及びデモンストレーション（ヒアリング含む）に基づく評価  
(560点)

表3 「提案書評価基準」に基づく。

(4) 提案者が1者だった場合の審査基準

提案書の提出が1者のみであっても二次審査は実施するが、その場合、  
(3)の総得点が6割を下回った場合、選定の対象としない。

表3 提案書評価基準

項目番号	提案書評価項目	評価の視点	配点
①	会社概要、導入実績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・代表法人の信頼性等。</li><li>・公営企業会計システムの導入実績。</li><li>・病院事業等での実績</li></ul>	50
②	提案システム全般 システムの操作性 システム稼働環境について	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の画面入力作業負担の軽減が図られているか。</li><li>・画面表示が見やすく、画面遷移がスムーズであるか。</li><li>・データの入出力、ガイド機能の搭載等、システム全体の操作性が優れ、事務作業の効率化が図られているか。</li><li>・作業ミス防止のための工夫、制御等があるか。</li><li>・既存の自社システムとの比較、または他社との優位性。</li></ul>	150
③	運用支援（保守・サポート体制）について	<ul style="list-style-type: none"><li>・保守管理体制の考え方、図が明記されており、サポート範囲、保守内容が明確であるか。</li><li>・通常の保守運用が現実的であり、定期的な訪問、また不測の事態の迅速な対応等を考慮したものか。</li><li>・マニュアル整備についての考え方</li><li>・電話・メールによるサポート、直接訪問等、必要に応じたサポート体制は整っているか。</li></ul>	120

④	セキュリティ要件について	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業としてのセキュリティ管理の取組。</li> <li>アクセス権限、システム・端末操作ログ、ウイルス対策等、具体的かつ的確な提案であるか。</li> </ul>	50
⑤	導入・移行要件について	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ移行の方法等が明記されており、安心して任せられる内容か。</li> <li>次期システムへデータを移行する場合は、汎用的なデータ形式でデータを出力することが可能となっているか。</li> <li>移行（抽出）できないデータ、対応方法の説明があるか。</li> </ul>	60
⑥	法改正等に伴うシステム改修費、システムヴァージョンアップ、再リースとなった場合等の費用負担の考え方。	<ul style="list-style-type: none"> <li>法改正に伴うシステム改修は、基本的に契約の範囲で対応する方針か。</li> <li>システム改修費用を求める場合、国等の補助制度を見込める範囲内という考え方か。</li> <li>その他の理由で、提案者のシステム改修が必要となった場合、改修費用の負担有無および負担見込額について。</li> <li>再リースの費用の考え方について。</li> </ul>	80
⑦	その他追加提案、独自提案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム機能、その他関連する業務内容について、本市にとって有益な提案があるか。</li> </ul>	50